



# SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2012～2013年度 RI会長 田中 作次  
RIテーマ Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

クラブテーマ「チ・カラを出そう」会長 太田政人

副会長 山本良一 幹事 石井司人

## 第1131回例会 2013.4.5(金)晴

司会:石井和郎君 指揮:小島 真君  
ロータリーソング「奉仕の理想」

**事務所** 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

**例会場** ブケ東海三島

TEL.055-984-0120  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

### 会長挨拶

会長 太田政人君

こんばんは、見事に咲き誇っていたソメイヨシノも桜吹雪とともに葉桜に変わろうとしています、春たけなわといったところでしょうか。

ご存じと思いますがロータリアンには三大義務があります、一つは会費の納入二つは例会の出席三つは雑誌の購読です。「クラブの会員はRIの機関雑誌またはRIの理事会が承認し、当該クラブに対して指定したロータリーの雑誌の有料購読者とならなければならない」とされています。機関雑誌とはアメリカで発行されている『THE ROTARIAN』でアメリカとカナダのクラブはこれの購読を義務づけられています。他に承認された30の地域雑誌がありこれら31の雑誌を総称して「ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS」といいます。日本の「ロータリーの友」もこの1つです。各地域雑誌では、その発行地域のロータリークラブやロータリアンの活動を紹介するとともに、『THE ROTARIAN』から指定される記事を、その地域で使われる言語に翻訳して掲載しています。「ロータリーの友」の記事に「RI」のマークがついているのがその指定記事です、是非お読みになり義務を果たしてください。以上、会長挨拶とさせていただきます。



今日の料理



### 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	28/33	84.85%	29/33	87.88%
今回	22/33	66.67%	会員総数	34名

**欠席者** あなたが見えなくて残念でした。

大房君、片野君、杉山(順)君、杉山(隆)君、田中君、中山君、服部君、宮澤君、望月君、矢岸君、米山君

### スマイルボックス

**兵藤弘昭君**:景気回復の兆しがはっきりしてまいりました。皆様にもこの恩恵がありますようにお祈り申し上げます。ボーリング大会ではブービーメーカー賞いただきありがとうございました。

**根津延和君**:久しぶりにスタートからの出席です。スマイルします。

**鈴木政則君**:今日は卓話です。宜しく願い致します。

**中村 徹君**:3月に旧病院の解体工事を岡さんにお願いました。駐車場付き、空き地になって綺麗さっぱり、ほっとしました。岡さんありがとうございました。今日届いた挨拶状によりますと、今月から遠藤修弘君が渡邊労務管理事務所の代表社員になられました。おめでとうございます。「真面目さ」も大切ですが、「ロータリーの寛容さを身につけた」所長さんも期待しています。

**遠藤修弘君**:先日の家族会に妻、次男、三男デビューさせていただきました。妻や子供たちは緊張したと言いましたが、すごく楽しかった様子でした。皆さんありがとうございました。

**渡邊照芳君**:久しぶりの出席です。先日岩手県大槌町へ米山さん、山田さんと3人で行ってまいりました。詳しい事は来週、私の卓話でお話いたします。お楽しみに。

**山本良一君**:3月24日の春の家族会にはボーリング大会と「バックスのへそ」での食事会と楽しい時間を過ごし、親睦委員の皆さんには大変ありがとうございました。

**山田定男君**:遠藤修弘さん、このたびは渡邊労務事務所の代表になられましたね。おめでとう御座います。ビジネス、ロータリー共に頑張ってください。

**小林 勝君**:本日は、町内の会合があるため早退させていただきます。すみません。

情報委員会では、新会員の方々にロータリーの知識を深める為に情報を提供します。入会して間もない頃は、ロータリーの事を良く理解できない人が多いと思います。早くロータリーを理解しようと思っている、新会員の方が多いと思います。何を読めば良いか、どこを探せば良いか、わからない新会員の方々にロータリーの情報をご紹介します。ロータリーの情報は色々な所から得る事ができます。クラブの例会、クラブの週報、ガバナー月信、ロータリーの友、ロータリーの友は今年の1月で60周年を迎えました。ロータリーの考え方や知識はこのロータリーの友を読めば良く理解ができる様になると思います。又、年に一度開催される、11月の地区大会、2月のIM、4月の地区協議会に参加すると、他のクラブの会員とも知り合になれるし、ロータリーの事を深く理解ができる様になると思います。

国際ロータリーでは、200をこえる国や地域に33,000以上のロータリークラブが存在しています。120万人以上のロータリーアンが人道的な奉仕をしています。

日本のロータリークラブは、海外の人にさまざまな支援をしています。

日本では、読み書きができることは、当たり前の様に思います。しかし、地球上では、読み書きができない人達がたくさんいるのです。読み書きができないと、良い仕事につくことができず、まずしい暮らしを余儀なくされます。例えば、薬を飲もうと思っても、字が読めないと、薬を飲むことができません。ロータリーでは、世界のすべての人達が、読み書きができる様に、さまざまな活動をしています。へき地な村に学校を作ったり、教科書やノートを送ったりしています。例えば、画用紙からお面を作ったり、お人形を作ったりしながら文字をおぼえて行きます。成人の女性には、料理や手芸といった実用的で、そして収入にも結びつく様なものを取り上げて、作業をしながら文字を学んでいます。文字が読めないと良い仕事につくことができず、生活は貧しくなります。ロータリアンたちは、世界中のいろいろな地域で、すべての人達が読み書きできるような活動を続けています。

日本では、水道の蛇口をひねると当たり前の様にきれいな水がでできます。私たちは、安心して飲む事ができる水を、トイレやお風呂に使っています。しかし、世界中には、水を手に入れる為に、遠くまで行かなければならない人達がたくさんいるのです。また、近くに井戸や川があっても、有毒な物質が含まれている為、水を飲むと病気になってしまいます。そういう所に住む人達は、有害だとわかっていても、その水を飲まなければならないのです。国際ロータリーでは、すべての人々が安全な水を手に入れられる様に、さまざまな活動をしています。へき地な村に井戸を掘るための資金を提供したり、学校に簡易水道を引いたり、また、雨水を溜める装置を送ったりしています。

世界中には、安心して水を飲むことができない人達がたくさんいるのです。

日本には、約2300のロータリークラブがあり、約9万人のロータリーアンがいます。

ロータリーアンは、それぞれに職業を持ち、職業倫理観を高めて、また、その職業を通じてさまざまな活動をしています。そのクラブがある地域社会のさまざまな人達と共に、地域に根付いた活動をしています。例えば、子供達の為に、スポーツ大会やスポーツ教室を開催したり、学校で自分の職業の話をしたりしています。地域の環境保全の為に、植樹をしたり、川を清掃したり、地域の人達が興味を持っている様なテーマで講演会をしたりしています。

ロータリークラブでは、多くの若い人達に支援をしています。

財団の奨学金について、日本人が海外へ留学する学生の為に奨学金を支援しています、上限が26,000ドルの支給があります、旅費に使うこともできます。各クラブがスポンサークラブになって支援します。ロータリアンの家族は利用できない様です。誰か友人に海外に留学する人がいましたら是非この制度を利用して下さい。

米山記念の奨学金について、海外からの留学生たちの為に奨学金を支援しています。各クラブがスポンサークラブになって支援しています。

インターアクトについて、12歳から18歳までを対象に静岡・山梨では20のロータリークラブが支援をしています。活動は高等学校のクラブ活動の中におかれ、地域社会にボランティア活動を主に行っています。年に一度、海外研修に出かけて海外のインターアクトの方々と交流を深めています。又21校の高等学校が一同に集まって生徒同志の交流を深めています。

ローターアクトについて、18歳から30歳までを対象に静岡・山梨では6のロータリークラブが支援しています。ロータリアンの従業員の方々が集まって活動しています。又、若い男女が集まりますので結婚相手を探したり結ばれたカップルもいるそうです。年に一度、全国のローターアクトが一同に集まり交流を深めています。ローターアクトは30歳で卒業になりますので、会員を維持するのが大変な様です。

青少年育成セミナーについて、1995年度澤田会長の時から始めた青少年育成セミナーです。佐野美術館の佐野隆一翁は、三島出身の大学生に支援をしました。東京に学生寮を作り安い金額で寮生活がおくれる様にしてくれました。その佐野学生寮OB会の方々から、佐野隆一翁に恩返しをしたいので、青少年の為の事業を一緒にしないかと誘いがありました。会長の鈴木正勝さん・小松繁生さん・コーディネーターに教諭の原先生にお手伝いをしてもらい、中学生を対象に事業を進めて行きました。この事業の目的は、学校では学ぶ事ができない、体験学習を中心に活動をしていきました。テーマを決めて、講話を聞き、テーマにそった体験学習をして、討論会で自分の考えをぶつけて行きました。

### 第1回目

日時 平成8年5月11日 土曜日  
場所 佐野美術館  
テーマ 自分に合った職業について考える  
講師 古屋憲男様

### 第2回

日時 平成8年8月11日 日曜日  
場所 伊豆見 陶芸の森  
テーマ 命について学ぶ  
講師 日蓮宗 住職 星野ぜんこう様

### 第3回

日時 平成8年11月9日 土曜日  
場所 佐野美術館  
テーマ 資源 エネルギーについて学ぶ  
講師 東京電力 北山一美様

### 第4回

日時 平成9年8月30・31日 日曜日  
場所 三島市立青少年自然の家  
テーマ ボランティアについて学ぶ  
講師 山岡修一様 三島ロータリークラブ  
テーマ 私の職業レーサーについて学ぶ  
講師 澤田 稔様

### 第5回

日時 平成9年11月1日 土曜日  
場所 三島市生涯学習センター  
テーマ 海洋生物から地球環境の大切さを学ぶ  
講師 筑波大学教授 横浜 廣継様  
野田三千代様

### 第6回

日時 平成10年8月28・29日 日曜日  
場所 三島市立青少年自然の家  
テーマ 地球環境について学ぶ  
講師 ネットワーク地球村 松吉徹也様

青少年育成セミナーで勉強をさせて頂き、その後職場体験学習に事業が進んで行きました。

職場体験学習について、1998年度兼子会長の時から三島北中学校の2年生を対象に職場体験学習の実施をしてきました。ロータリー以外の企業に声をかけて、多くの企業を北中学校に紹介して、各企業の方々が中学生を受け入れてくれました。この事業の目的は、体験学習を通じて、働くことの楽しさや厳しさを学び、将来の自分の生き方について考えを深め、学校では学ぶ事のできない実践力や人と人との関わり方を肌で感じてもらえる様な事業になりました。当クラブで実施していた職場体験学習が、三島市の教育委員会で実施する様になり、その後三島市全部の中学校で職場体験学習を実施する様になりました。今では三島市の教育委員会で各企業に呼びかけて、

各中学校が各企業と連絡を取り合って職場体験学習を実施しています。今年も三島市の教員委員会から職場体験学習ゆめワーク三島、生徒受け入れが来ていますので多くの企業の参加をよろしく御願い致します。

学校に講師としてロータリーアンを派遣する事業については貴重な体験をさせていただきました。三島北中学校に行って50分間、自分の専門職の話をする、この事業で凄かった所は各教室に、その専門職に興味のある生徒が集まっていたことでした。

ロータリーの原点は職業奉仕です。職業を通じて社会に貢献する、綱領の第2項に書かれています。自分の専門職の倫理観を高めて地域社会に役に立つように貢献して行く。

私はロータリーに入会して良かった事が一杯あります、色々な人脈ができて個人的にも 職業的にも発展する事ができました。仕事に直接利害関係がないので、色々な方々の成功談や失敗談など、酒の席や卓話などで、中々聞けない話を聞く事ができました。仕事で困っている時、色々な専門職の方の話が聞けるので、これは私にとって大きな財産になりました。色々な方々と共に活動していく事によって、自分自身だけでなく会社も成長して行けます。ロータリーは定年が無いので一生のお付き合いになります、自分を高めて行くには良い環境であり、それが最大のメリットだと思います。ロータリーは人間道場ですね。

## 第9回理事役員会報告

平成25年4月5日 19時30分～19時45分・

会議場 ブケ東海三島・

出席者 太田政人・石井邦夫・山口雅弘・  
加藤正幸・兼子悦三 山本良一・  
根津延和・久保栄子・渡邊照芳  
土屋 巧・石井司人・岡 良森・

欠席 宮澤正昭 小林 勝・

司会者・石井司人・記録者・加藤正幸

①緑の羽根募金の件・  
クラブより協賛・

②ミセスアモーレ慰問の件・

4月17日(水)14:00～

三島市徳倉ミシマケアセンター そよ風にて演奏会・

③次年度役員案の件・

原案通りにて理事会承認

④大槌町慰問の件

4月1、2日、渡邊パスト会長慰問記念品についてクラブにて協賛